

## 令和 6 年度 全国健康保険協会岩手支部第 2 回評議会 議事概要

- 【開催日時】 令和 6 年 10 月 22 日（火） 10：00～11：30
- 【開催場所】 朝日生命盛岡中央通りビル 2 階 A 会議室
- 【出席者】 浅沼評議員 鎌津田評議員 熊谷評議員 佐藤評議員  
菅原評議員 田口評議員 藤村評議員 宮寺評議員 宗形評議員  
（五十音順、敬称略）

### 【議事】

- ・議題 1 令和 7 年度平均保険料率について
- ・議題 2 令和 7 年度事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取について

### 【議事の経過】

支部長挨拶後、各議題について協会より説明を行い、その後に出席者からの質疑等の発言を求めました。発言の内容は以下のとおりとなります。

### （1）令和 7 年度平均保険料率について

#### 【被保険者代表】

収支見通しや試算について厚生労働省は確認しているのか。

準備金残高が法定準備金を超えて積みあがっていく場合の減額特例措置は今後も変わることはないのか。

保健事業の一層の推進について、なぜ、3 年間もかけるのか。令和 7 年度にすべて実施すれば良いのではないのか。

#### <事務局>

本部運営委員会に厚生労働省も出席しているため、承知していると認識している。これまで賃金上昇率は過去 10 年平均（今回は 0.8%）を基本としていたが、試算の前提をより幅広くすべきという運営委員の指摘を踏まえ、なかなか先行きが読めない中で今回は 16 パターンの試算を出したと聞いている。

過去、国庫補助率を 16.4%から 13.0%に下げた時に単年度収支差が赤字になった時期が何年か続いた。その後、期限の定めなく 16.4%に上がった経緯を鑑みると、特例措置は今後も継続すると思われる。

保健事業の一層の推進については、スピード感が重要と認識はしているが、体制の整

備に時間を要する。

【学識経験者】

賃金の伸び率が高くなれば医療費の伸び率も上振れするのはなぜか。

協会けんぽとしては、国民健康保険加入者で収入が低い方が加入すると、保険料収入が少なく支出が増えるため、マイナス材料として捉えているということか。

<事務局>

医療費の所得弾力性については、過去のデータや研究に基づくと聞いている。所得が増えると医療機関に受診する意識が高まるのかもしれない。

協会けんぽの被扶養者が被保険者になれば保険料収入が見込めるため、プラスとなるが、他の保険者の被扶養者が協会けんぽに加入すると標準報酬月額が下振れする可能性がある。また、医療費が高い年代層であれば支出が増加する可能性もある。単純に加入者が増えても財政的に良くなるということにはならないと考える。

【事業主代表】

法定準備金について国は目安とする率は示しているのか。

<事務局>

国は目安を出していないが、保険給付費や高齢者拠出金等の支払いに必要な額の1カ月分（約9,000億円）という数字が出ている。1カ月はあくまで最低ということであるため、1カ月分以上は必ず積み立てなければならないということである。

【事業主代表】

準備金が増えたことが理由で保険料率を下げたことにより、国庫補助率が減らされるということにならないように、準備金の在り方について支部としても訴えた方が良い。

【被保険者代表】

最低賃金が岩手県でも上がっており、社会保険に加入する方も増えてきている。年収の壁の上限を見直すといった議論はされているか。

<事務局>

国の審議会等で被用者保険の在り方や年金制度改正等も含めた形で議論されるものと思われる。

【被保険者代表】

以前、協会けんぽでは国庫補助率を固定的に上げてもらうよう、地元の国会議員に働きかけたり、霞が関でデモ行進を行ったりしたことがある。もし、保険料率を下げて、国庫補助率がまた下がるようなことがあれば、それらが無駄になってしまうので、平均保険料率は現状維持でやむを得ない。一方、準備金の事業主、加入者への還元策として、健康増進に向けた取り組みを更に充実する等の一層の推進については、将来の医療費削減につながる良い取り組みなので、何年もかけずに、スピード感をもって早急に実行願いたい。

## (2) 令和7年度事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取について

### 【被保険者代表】

血圧リスク保有者の割合について、平均年齢が高い支部は高くなると思うが、年齢は加味されているか。

### <事務局>

年齢調整されている。

### 【被保険者代表】

塩分が何にどの程度含まれているか分かるような資料がほしい。

### <事務局>

後ほど提供する。

### 【学識経験者】

青森県が高血圧対策に早めに取り組んだと聞いているが、岩手県はどうか。

### <事務局>

岩手県では塩分摂取量を下げることが目標にしている。

### 【事業主代表】

健診受診勧奨のためにも、健診受診率を事業主に対しても通知するべき。

### 【被保険者代表】

被扶養者への保健指導について、被扶養者にとっては、支部まで足を運ぶのは億劫で

ハードルが高く、DM だけでは難しいと感じる。恥ずかしがりやで表に出ないことをよしとする県民性をよく考えて方法や場所を工夫してほしい。

<事務局>

ICT を活用したり、ショッピングモールで開催したり、県民性も考慮して検討したい。